産　業　新　聞　（第3種郵便物認可）

お年寄り癒やす「家族」

会話機能付き ぬいぐるみ 脳活性化にも

ペットや家族のように、ぬいぐるみとの生活を楽しむお年寄りが増えている。音声機能が充実し、鳴き声や会話などで癒やされるという高齢者が多い。通信を活用した見守り機能を盛り込んだ商品もある。

（田中ひろみ）

まるで本物の猫

頭をなでると「にゃ～」と喜び、尻尾をなで続けると「うわ～う」と怒る――。

「なでなでねこちゃんDX2」（税込み希望小売価格6458円）は、猫の鳴き声がリアルだ。触る場所や触り方によって鳴き声は48種類。川崎市の新興企業、トレンドマスターが9月に発売した。

子ども向け商品を4年前に売り出すと、アンケート調査で購入者の1割がお年寄りだった。「より本物そっくりに」との要望が多く寄せられ、開発につながった。中田敦社長は「猫が好きでも、飼えない高齢者は多い」と話す。「認知症の人の癒やしやコミュニケーション促進の効果が確認できた」として、川崎市が独自認証する優良福祉用品に選ばれた。犬のぬいぐるみも12月に発売予定だ。

音声機能が充実したぬいぐるみは、音や触感に反応するセンサーなどを内蔵し、話したり鳴き声を出したりするタイプが中心だ。

一人暮らしの高齢者は会話の機会が少なくなりがちだ。豊橋技術科学大の大呂義雄名誉教授（社会高齢学）は、「ぬいぐるみに話しかけられると脳の活性化や集中力アップにつながり、癒やし効果がある。一緒の外出は、同世代や孫世代との会話のきっかけにもなる」と話す。

熱中症予防 声かけ

玩具メーカー「パートナーズ」の人形「おしゃべりみーちゃん」（同1万3500円）は、背中を軽くたたくと4歳の女の子の声で話し始める。簡単な会話も可能で、日時も認識している。

「変な電話に気をつけてね」「暑いな。お水をたくさん飲みましょ」と話すので、振り込め詐欺対策や熱中症予防への意識も高まりそうだ。

タカラトミーが4月発売したクマと犬のぬいぐるみ「なんでしってるの!? しゃべくりハッピー&ラッキー」（同0円）は、スマートフで利用者情報を入力すヨさんはおまんじゅうなど、相手に合わせて利用者の1割が60歳以孫が設定しているケーとみられ、「話し相手ご祖母が明るくなった」性）などと好評だ。

スマホで

NTTドコモや玩具「イワヤ」などが共同クマ型ぬいぐるみ「こ（同3万7584円）り機能が特徴だ。月額円のサービス料を支払ぐるみの利用状況をスで確認できる。

手の部分のボタンをクマの口が動き、子やられた音声メッセージれ、送り返すこともで行予約は受け付け終了予約分は来年以降の出見込みだ。

2015年の国勢調一人暮らしの高齢者は ら2割増え、592万る。高機能ぬいぐるみア世代の癒やしに一役も増えそうだ。

シニア向け高機能ぬいぐるみの例

商品名	なでなでねこちゃんDX2	おしゃべりみーちゃん	なんでしってるの!?しゃべくりハッピー&ラッキー	ここくま
開発企業	トレンドマスター	パートナーズ	タカラトミー	NTTドコモ、イワヤなど
幅もしくは横×高さ×奥行き（センチ・メートル）	43×14×11	25×30×20	28×30×27（クマ）	21×28×20
特徴	なで方で鳴き声が変わる。自分の猫そっくりに作ってもらえるサービスも	簡単な会話ができる。季節や時間帯に合ったひとりごとを言う	利用者の名前や好みなどの情報を登録すると、設定に合わせて会話する	離れて暮らす家族との音声メッセージのやりとりが、見守り機能の役割に
電源	乾電池			充電式
税込み希望小売価格	6458円	1万3500円	各9720円	3万7584円、月額サービス料2139円
購入方法	インターネット通信販売など	電話、ネット通販など	玩具店、ネット通販など	百貨店など